

日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red

Cross Kyushu International College of

Nursing

手で触れてバリアフリー／ユニバーサルデザインの
に感じ考え交流するWifyカフェの試み

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 守山, 正樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/659

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



WB23 手で触れてバリアフリー／ ユニバーサルデザインの的に感じ考 え交流する Wify カフェの試み



<https://taiwa-act.blogspot.com/2014/07/wb23-wify.html>

皆さんこんにちは。今日の Wifycafe (ウィッフィ・カフェ) を紹介します。
今日は 2014 年 7 月 14 日、今日の Wify カフェ、参加者は 6 名です。
そのうち女性 1 名と男性 1 名は目が不自由です。

女性の場合は 30 歳代で光を失ってから 25 年間、男性の場合は小学校の時に光を失ってから 30 年間、手で触れたり耳で聴いたりすることを大切に、生活しています。

そのほかの、私も含めた 4 名、女性 3 名と男性 1 名は (普段は目で見ることを中心に生活していますが) 時々アイマスクをつけ、見えない状態を、この Wify カフェで体験しています。

この 2 年間、何回も、こういう体験をしてきました。

それでは、今日の内容を具体的に紹介します。

今日の Wify カフェで触れる物は、普段、触れることや音を聴くことを大切にしている男性の参加者が持ってきてくださった、このアニアのシリーズ、このような動物のフィギュア、カバ→ゴリラ→パンダ→ウサギ。今日はこのようなものに、Wify カフェで、全員の参加者が触れました。

.....
.....

参考

<https://www.facebook.com/wifycafe>

<https://sites.google.com/a/wifywimy.com/practice/>

(守山正樹)